

ため池起源の地下水の特徴

Groundwater around a Tame-ike (irrigation pond)

田口 幸洋 [1]; 中村 一貴 [1]

Sachihiro Taguchi[1]; Kazutaka Nakamura[1]

[1] 福大・理・地球圏

[1] Earth System Science, Fukuoka Univ.

福岡市の南部に位置するあるため池周辺の地下水には、周囲の地表水と比べはるかに同位体的に重い地下水が分布している。それらの起源を水の同位体比を求め推定したところ、地下水が得られた井戸よりも若干標高が高い所に位置するため池がその起源であることが明らかとなった。ため池で主に夏の間に蒸発が進行し、重くなった水が周辺の地下水となって浸透・移動している様子が明らかとなった。ため池周辺の地下水の流動には、同位体的に重くなった地下水を的確に把握できる同位体的手法は極めて有効な手段であると考えられる。